



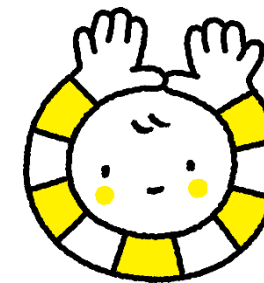
こどもっと  
KOBE

神戸市の  
子ども・子育て支援

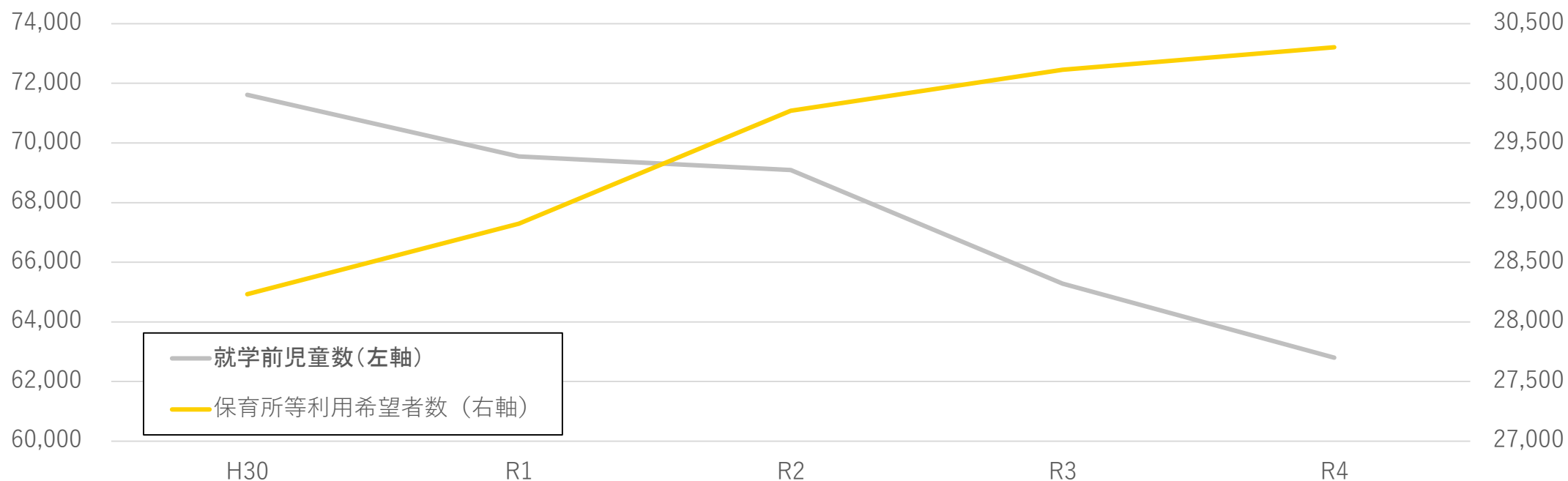
---

こども家庭局

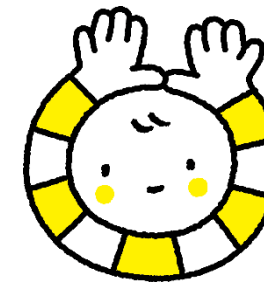
# 子ども・子育てを取り巻く環境



- 人口減少社会の進展・共働き世帯の増加  
神戸市内の0歳～5歳人口は継続して減少  
一方で、保育所等の**利用希望は6年間増加傾向が続く**



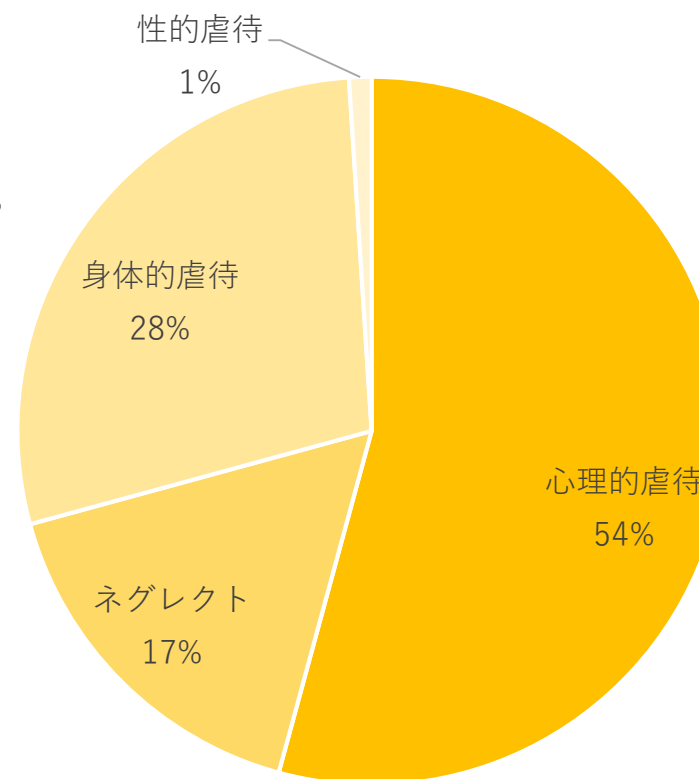
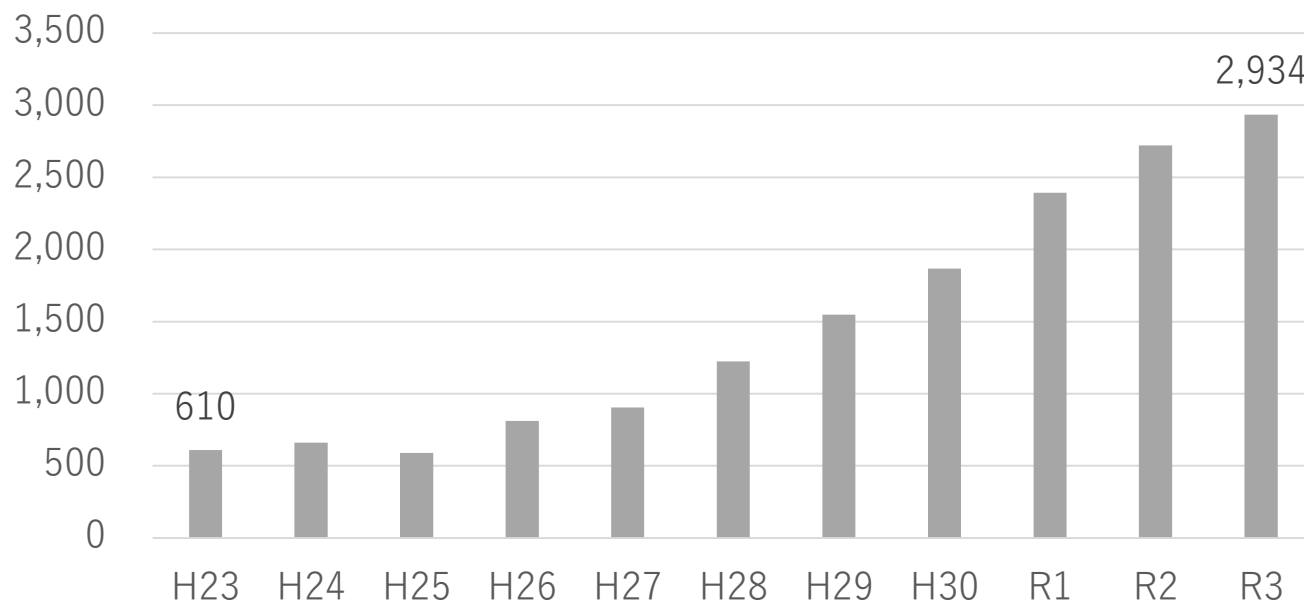
# 子ども・子育てを取り巻く環境



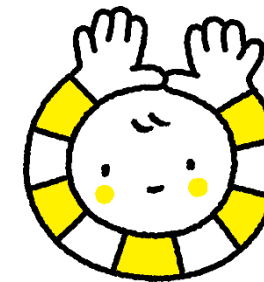
- 児童虐待相談の増加

警察や知人からの通報等が増加

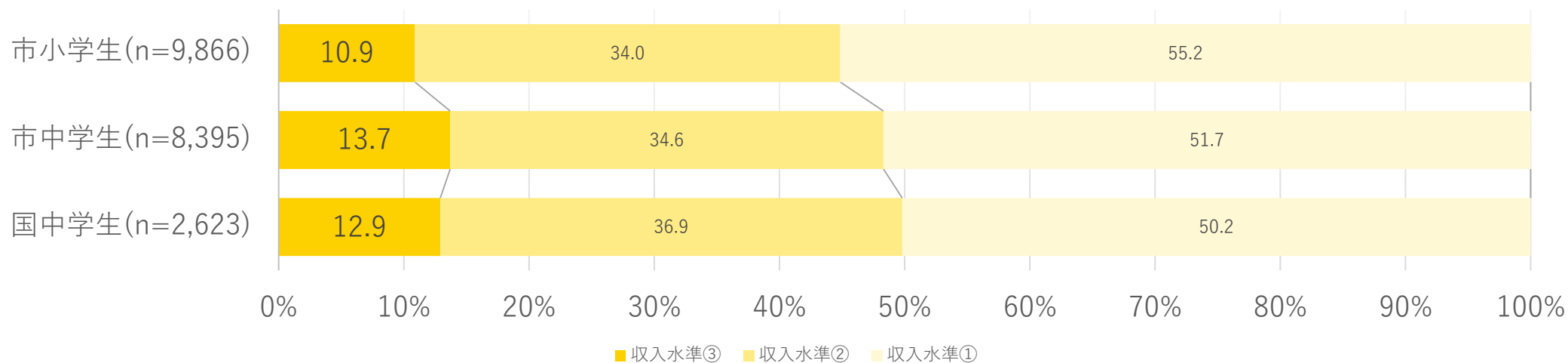
相談件数は10年間で約5倍になっている。



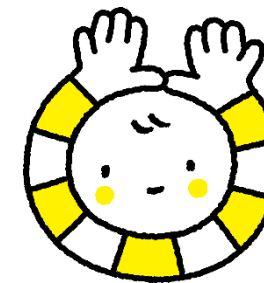
# 子ども・子育てを取り巻く環境



- 子どもの貧困のとらえ方「相対的貧困」  
神戸市では令和3年度に初めて  
「神戸市子どもの生活状況に関する 実態調査」を実施  
同調査では、中学生で7.3人にひとり、小学生で9.2人にひとりの世帯が一定水準以下の経済状況にあるという結果



# 子ども・子育てを取り巻く環境



- 新型コロナウイルス感染症の影響の長期化

平成31年3月～ 市立学校休校、保育所等の家庭保育要請  
学童保育での低学年児童の午前中の受入開始  
子どもの居場所づくり（昼食提供型）募集開始

平成31年4月 保育所、学童保育施設等特別保育へ移行

令和元年5月 学校園分散登校開始

令和元年6月 学校園再開（夏休みを短縮）

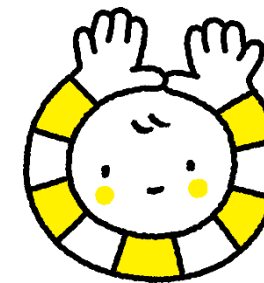
- さらに、令和4年度は物価高騰・原油高の影響も

令和4年6月～ 児童福祉施設等への運営支援

児童との接触を避けられない施設の現場では感染症対策が必須に  
感染症の影響でやむを得ない休所・休園により市民生活に影響

# こども家庭局の基本方針

---



こういった状況に対応しながら、

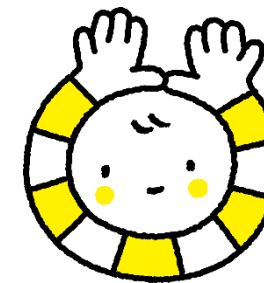
妊娠・出産期から学齢期において

**切れ目のない支援**を充実・提供し、

**誰もが安心して子どもを産み育てる街**の実現  
を目指す。

# こども家庭局の政策の柱

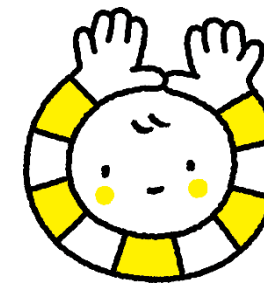
---



1. 妊娠・出産、子育て期の支援
2. 仕事と子育ての両立支援
3. 特に支援が必要な子どもたち・家庭への支援
4. 地域における子育て支援・青少年の健全育成
5. 全ての子どもたちの未来を応援

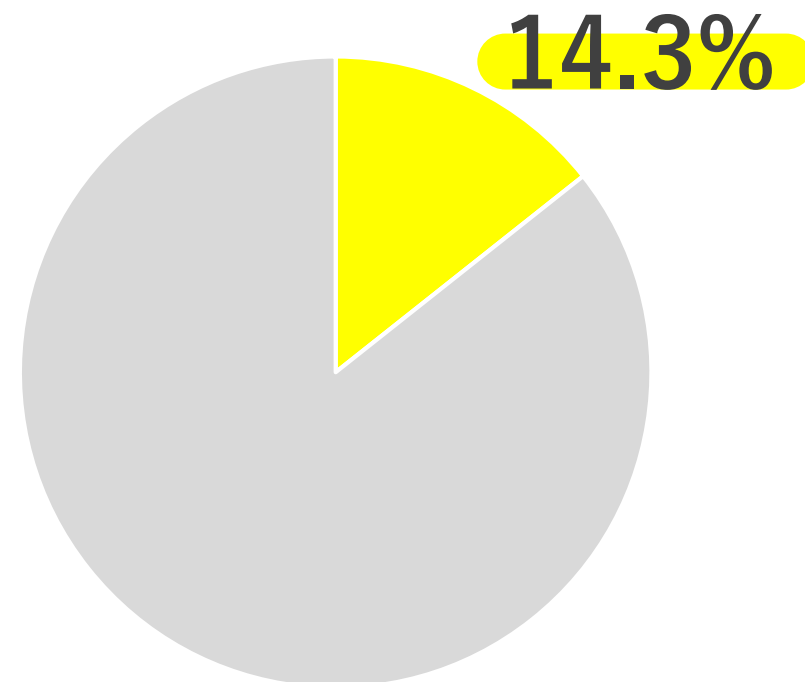


# こども家庭局の予算規模



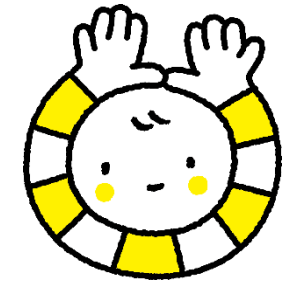
- 神戸市の予算879億円のうち、

こども家庭局分予算は126億円





# 妊娠・出産・子育て期の支援



ここに注目!

神戸市の妊婦健康診査助成は政令指定都市最高レベル

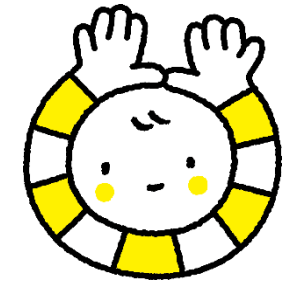
- 出産までの負担を軽くするため、政令指定都市で最高水準額の12万円（上限）を助成
- 双子、三つ子の場合は、さらに2.5万円を追加助成



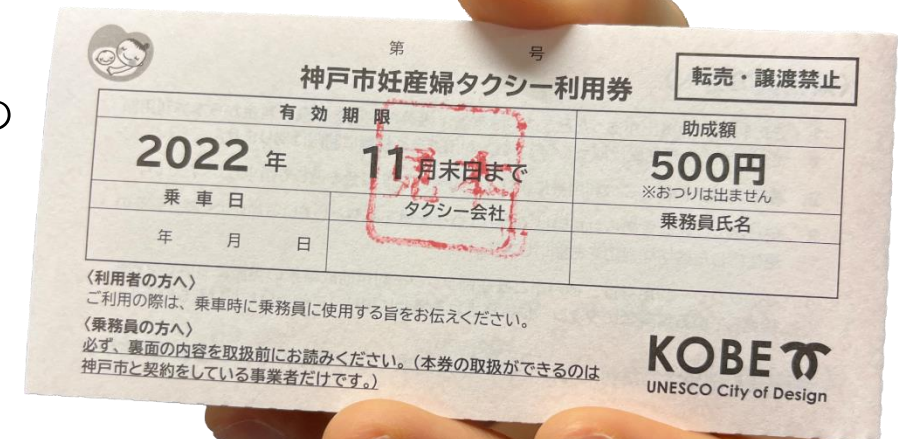
## • 妊娠・出産・子育て寄り添い支援事業の開始

- 妊娠期、出産後と継続して面談を実施
- 希望者には妊娠8か月頃の面談を実施
- 妊娠届出後に5万円、出生届出後に子ども1人あたり5万円を寄り添い給付金として支給

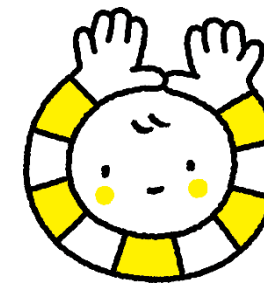
# 妊娠・出産・子育て期の支援



- 不安の大きい産前産後の時期をサポートする事業も充実
  - 産前サポート、妊婦への支援
    - コロナ禍で開催が減っているプレパパ・ママ教室開催や訪問などで不安を軽減し、子どもを受け入れる準備をサポート
  - 産婦健診費用助成
    - 出産後間もない産婦の精神状態の把握を含め健康診査の費用を助成（上限5,000円／回）
  - 産前・産後ホームヘルプ
    - 家族や周囲のサポートが薄い妊産婦の家庭にヘルパーを派遣、妊産婦の負担を軽減
  - タクシー利用助成（5,000円／人）
    - 身体の変化が著しく、負担が重い妊産婦の移動をサポート



# 妊娠・出産・子育て期の支援



- 不安の大きい産前産後の時期をサポートする事業も充実

## 産後ケア

- 産後に不安が強い方が助産所等へ通所、宿泊し産後うつを予防、子どもへの愛着形成を促進
- 自宅で相談をできる訪問型も開始（R3年度～）

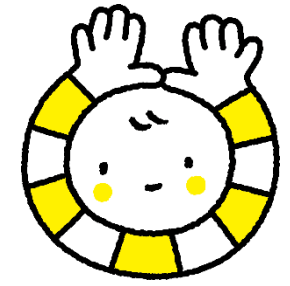
- 生まれたお子さんを神戸全体で祝福

## こべっこウェルカムプレゼント

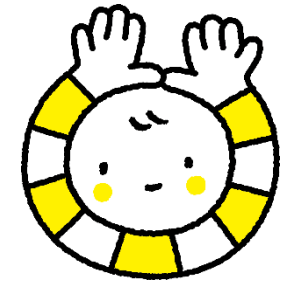
- 神戸の魅力が詰まった「こべっこウェルカムプレゼント」をお届け
- 第1子：1万円、第2子：1.5万円、第3子以降：3万円 相当のカタログギフト



# こべっこウェルカムプレゼント



# 産後ケア

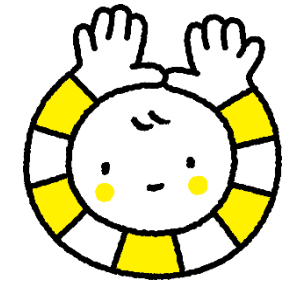


こどもっと  
KOBE



ここは（産後ケアも受けられる）毛利助産所といって

# 妊娠・出産・子育て期の支援



- プレコンセプションケアの普及・啓発
  - 不妊に悩む夫婦や将来子どもを授かりたいカップル等に向けて不妊治療や妊娠・出産などの正しい知識を啓発

知ろう、  
妊娠のこと。

話してみよう、将来のこと。

? 今すぐできるプレコンって?  
たとえば  
**葉酸**の摂取を  
妊娠前から意識的に

? 最近30歳以上で  
出産する人多いよね?  
**35歳**以上は  
医学的には高齢出産

? 不妊は女性だけの問題!?

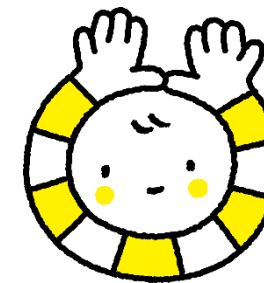
不妊の  
約**50%**は  
男性にも原因がある



- グリーフケアの実施

- 流産・死産を経験した悲しみを抱える女性の支援強化のために、区役所や医療機関等の専門職向けの研修やケースカンファレンスを実施

# 妊娠・出産・子育て期の支援



- こども医療費は高校生の外来、入院も対象に
  - 神戸市では所得制限なく、全ての子どもが対象
  - 低額な負担で必要な時に医療が受けられる環境を整備

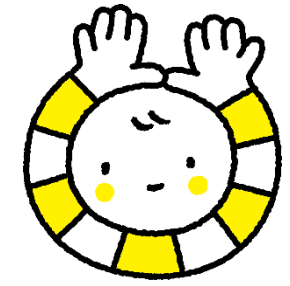
	乳幼児 (2歳まで)	中学生まで	18歳まで
外来	無料	1医療機関ごとに 1日上限400円/回 (月3回目からは無料)	
入院	無料	無料	無料



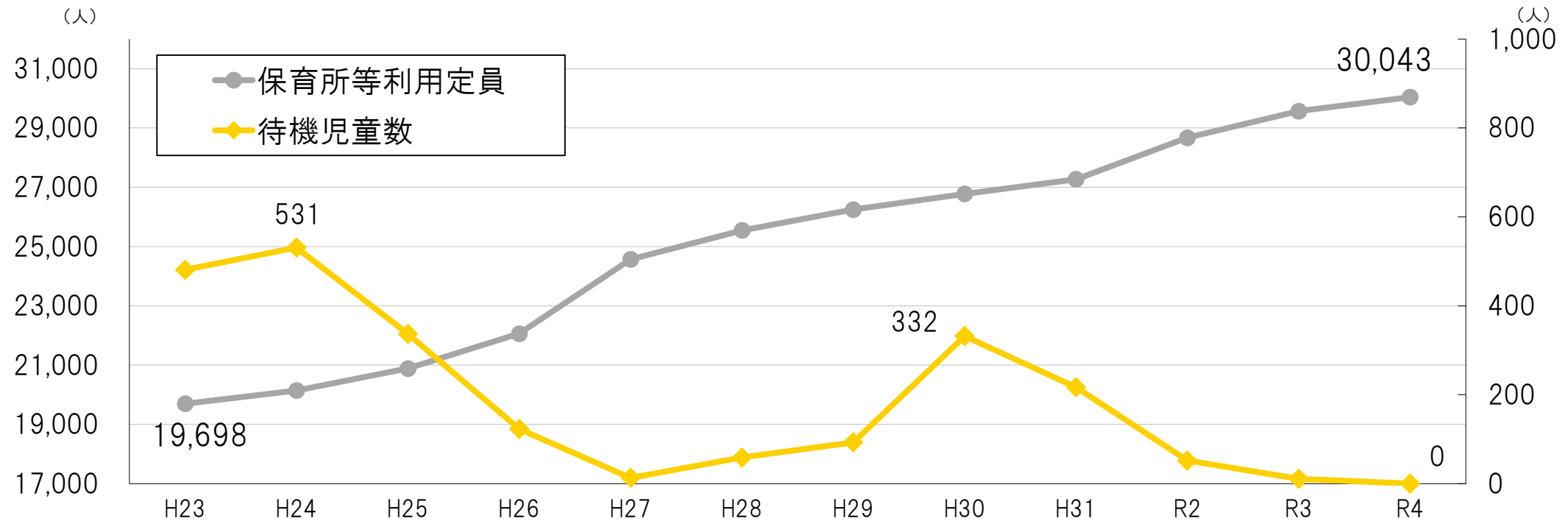
※ 国の医療保険制度では、3割負担

※ 兵庫県の子ども医療費制度により、中学3年生までは2割負担

# 仕事と子育ての両立支援

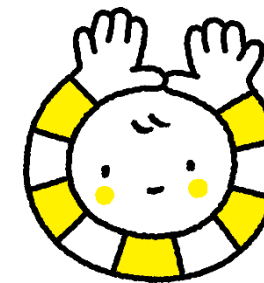


- 待機児童対策に重点的に取組み、11年で約1万人定員を拡大
- 令和4年4月1日現在の待機児童はゼロに





# 仕事と子育ての両立支援

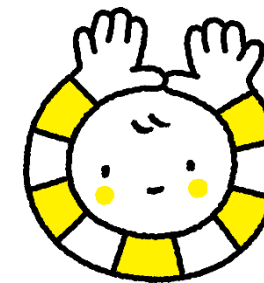


- 3歳から5歳の保育料・一時保育は無償
  - 0歳から2歳の保育料も第2子半額、第3子以降無償
  - 満1歳から2歳の一時保育も第2子半額、第3子以降無償

	0歳から2歳	3歳から5歳
住民税課税	神戸市独自制度で 第2子半額、第3子以降無償	無償
住民税非課税	無償	無償

- さらに育休終了後、入園（翌4月）までの代替保育（一時預かり事業等）利用料を支援

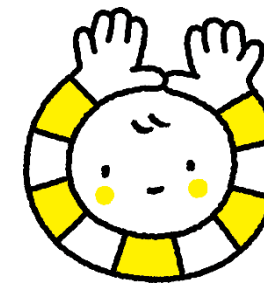
# 仕事と子育ての両立支援



## 病児保育施設も充実

- 急用や仕事など病気のお子さんを預けられる病児保育は22カ所（政令指定都市の中で2位）
- 医療的ケアが必要な児童の受入れ施設を毎年拡大
  - たんの吸引や経管栄養など日常的に医療的ケアを必要とする児童を受け入れられるよう保育所等に看護師等を配置
  - R3年度 10施設 → R4年度 17施設 → R5年度19施設

# 仕事と子育ての両立支援



- 施設整備だけではなく、現場を支える保育士等の先生も応援

01

7年間で  
最大170万円を支給!

※R3,R4新規採用の方限定、R5は160万円



04

お子さんの保育料が  
1年間無料に!



02

月額最大10万円の  
補助で実質家賃ゼロ!



05

パート復帰で、  
10万円を支給!



03

奨学金の返済を  
月5千円まで補助!



06

資格の勉強費用を  
半額補助!

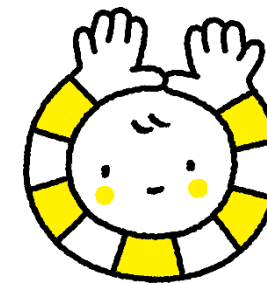


保育園の  
せんせいも / 幼稚園の  
せんせいも /

神戸なら、

6  
の  
いいね

# 仕事と子育ての両立支援



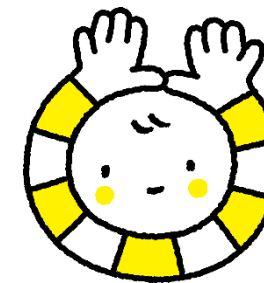
ここに注目!

さらに、**学童保育は待機なし**

- 利用者増加に対応するために継続して整備中（新たに7カ所）
- 「小1の壁」とも言われる様々な問題にも対応
  - 学童保育実施時間内に子どもの学習習慣定着を図るため、学習支援を実施
  - 学校から離れた場所にある児童館では、送迎を実施することで児童の安全を確保
  - 要望が多かった、学校長期休業中等の朝8時からの開設については、特別な事情のある施設を除き、全施設で実施
  - 学校長期休業期間中の昼食提供を一部の施設で実施
- 小学校を活用した夏休みの居場所づくり
  - 令和5年度は5校程度でモデル実施を予定



# 特に支援が必要な 子どもたち・家庭への支援



- こども家庭センター（児童相談所）の運営、区役所での相談
  - 移転後のこども家庭センターは相談室を拡充



## • 児童家庭支援センター

- 虐待相談が増加する中、こども家庭センター・区保健福祉部に  
加えて地域の拠点として、市内3か所の児童家庭支援センターを設置



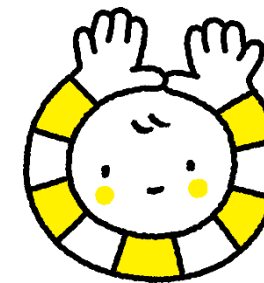
ここに注目!

## 児童虐待にかかる相談・通報への対応強化

- これまでも専門性や迅速性を高めるため、こども家庭センターに弁護士、警察官を配置する等、児童虐待防止への対応を強化してきた。
- 令和4年度（合計19人）に続いて、令和5年度も11名の児童福祉司・児童心理司を増員
- さらにSNSによる相談窓口「親子のための相談LINE」開設

# 特に支援が必要な 子どもたち・家庭への支援

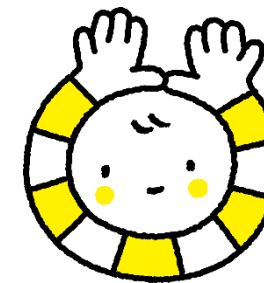
---



- 一時保護された児童への支援の充実
  - 児童自身の意見を形成し表明することを支援する「意見表明制度」を令和4年度に開始
  - オンラインによる個別面談・指導の導入のほか、さらに学習支援体制を強化予定
- 児童養護施設入所中や退所後の支援の充実
  - ふるさと納税を活用し、入所児童の高校部活費用、修学旅行費用を支援。令和5年度からは通塾等進学費用も補助
  - 退所後の児童の自立支援のため、公営住宅を活用

# 特に支援が必要な 子どもたち・家庭への支援

---



## • DV対策

- パープルリボンキャンペーンをはじめとした啓発活動
- 最近では、トイレットペーパーを使った啓発活動が話題に

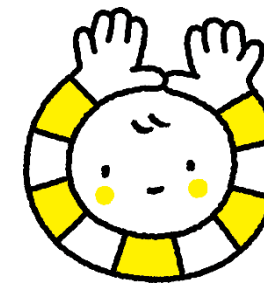
## • ひとり親家庭への支援

- ①就業支援、②子育て・生活支援、子どもへの支援、③養育費確保、④経済的支援の4つの柱で支援を実施
- 多様な支援メニューを探しやすくなるようチャットボットを導入

## • こどもケアラーへの支援

- 神戸市では全国に先駆けて「こども・若者ケアラー相談窓口」を令和3年6月に開設
- ケアを必要とする家族等が本来受けられるはずの障害福祉サービス等への移行手続きを行うことで、恒常的な負担軽減へ繋ぐ

# 特に支援が必要な 子どもたち・家庭への支援



- 障がいのある子どもへの対応

障害や発達の気になる子どもについては、乳児検診などで早期に発見し、専門的な相談、ひとりひとりの特性に応じた療育機関につながるような支援が重要

成長過程で、保育所や学校、支援サービスなど切れ目なく支援が必要

- 聴覚障害児支援中核機能モデル事業を実施

- 医療・保健・福祉・教育の連携により、聴覚障害児と家族に適切に情報を提供
- 新生児聴覚検査助成を実施し、早期の発見、早期の支援につなげる。

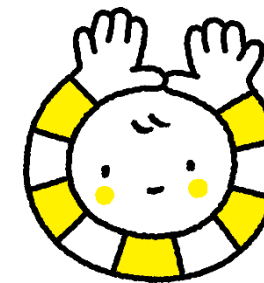
- (仮称) 「こべっこ発達専門チーム」新設

- 医師、保健師、ケースワーカー、心理士からなるチームを新設
- 乳児検診の二次健診、相談対応、簡易な発達検査などを実施、療育センター等の待機時間短縮に取り組む



# 地域における子育て支援

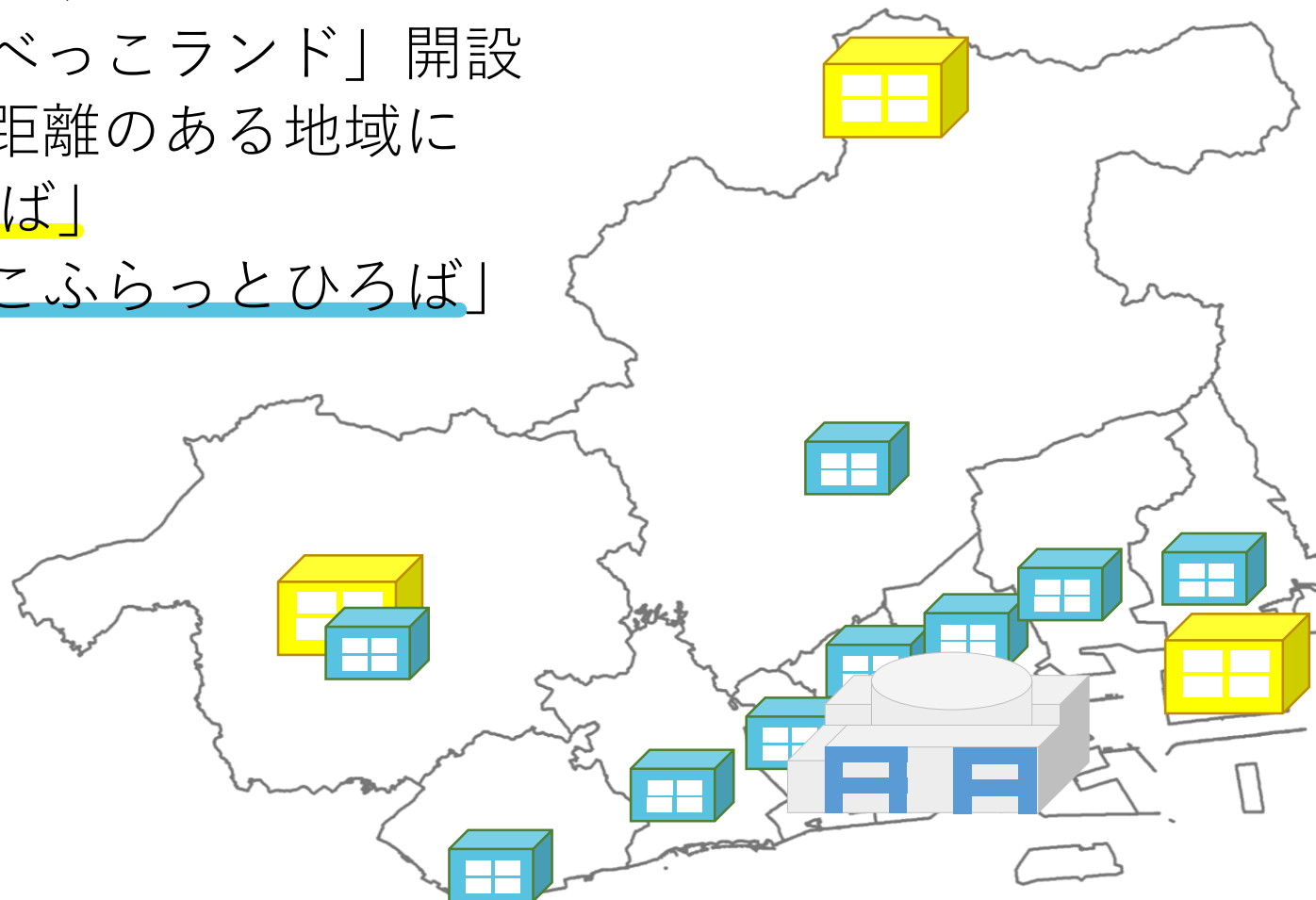
## ・ 青少年の健全育成



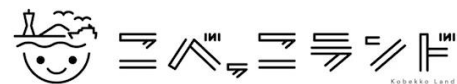
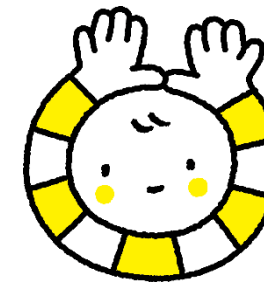
交流できて、相談でき、気軽に立ち寄れる施設を充実

- 令和5年2月に「こべっこランド」開設
- こべっこランドから距離のある地域に「こべっこあそびひろば」
- 各区役所には「おやこふらっとひろば」

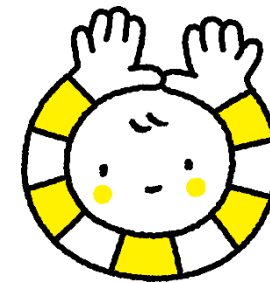
ここに注目!



# こべっこランド

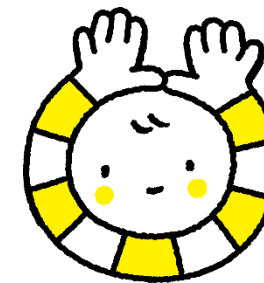


# おやこふらっとひろば



0歳 から 2歳までの

# 地域における子育て支援 ・ 青少年の健全育成



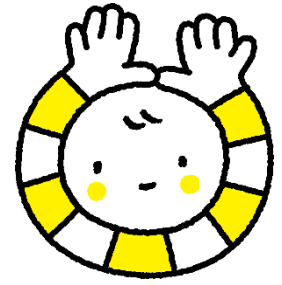
ここに注目!

さらに、身近な地域にある「児童館」

- 児童館数は政令指定都市第2位
- 中学校区に1カ所程度、市内120カ所

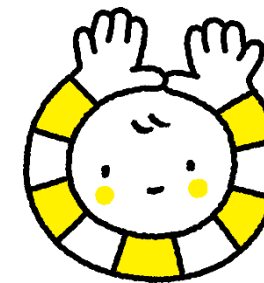


# 全ての子どもたちの未来を応援



- 令和3年度には こども未来課を設置
  - 全ての子どもたちの未来を応援する施策を展開
- 食を通じたつながり支援
  - 新型コロナウイルス感染症の影響で生活が厳しい状況になるなど、支援につながっていない又はつながりの希薄な子育て世帯を、食品等の提供を通じて、地域や行政等につなげる
- 学びへつなぐ地域型学習支援
  - 経済的事情等によって学習期間を十分に得られない中学生を対象に学習支援を実施する地域団体を支援（R5年度は市内6か所で実施）
  - 学習の場や、社会人としてなりたい自分を描けるような大人と接する機会の提供、地域全体で子どもを支える機運の醸成を目指す

# 全ての子どもたちの未来を応援



## • こども居場所づくりの全市展開

- ひとり親や共働き家庭で夜遅くまで一人で過ごすなど、課題を抱える子どもたちが、放課後等に食事や学習、団らんなどを通して安心して過ごせる居場所づくりを進める
- 市内163の小学校区全てに展開できるよう取組を継続

## • 令和4年度から新たに高校生等通学定期券補助制度開始

- 高校生の通学定期券購入の費用負担が特に高額である場合  
その世帯の負担を軽減することを目的に補助金を交付
- 月平均12,000円を超える部分の2分の1を補助  
(所得制限や対象交通機関の制限なし)

KOBÉ

もう少し遠くの夢に届く

神戸市 憧れの高校  
2022-9.1~

令和4年9月 START!!

申請には、補助対象期間の全ての通学定期券の画像が必要です

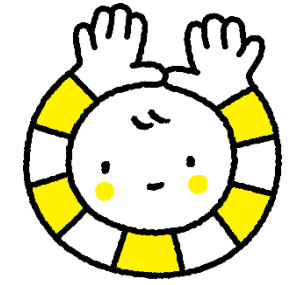
受付期間 令和5年1月4日(水)~4月14日(金)

詳しくは 神戸市 定期代補助

高校生の定期券補助、  
はじまります

通学定期代の負担を軽減！  
高校生の学びをサポート！

# 全ての子どもたちの未来を応援



- 子育ての施策をつたえる新たなシンボル「こどもっとKOBE」
- 子育て応援サイトのリニューアル
  - これまでご紹介した施策などが必要な人に届くよう、子育て支援に関する特設サイトを開設
  - 令和5年度は構築から10年を経過した「ママフレ」サイトをリニューアル
- SNSを活用した「神戸ママフレ部」での発信

食欲の秋、読書の秋、芸術の秋  
子どもと一緒に秋を楽しむ オススメな神戸をSNSで発信中

KOBE

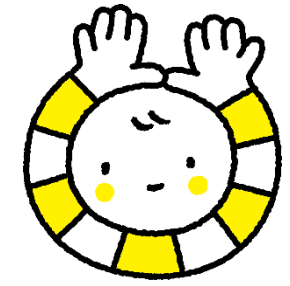
みんなで #シェアしたら、  
ママフレ部 もっと楽しい

公式SNSでチェック!!  
@kobe\_mamafre\_official  
@kosodate\_kobe

フォローしてね!!

困った時に役立つ情報も!!

# こども家庭局だけでない子育て支援



- こども本の森神戸の開設、各区にある地域図書館
- 1人あたり公園面積は政令指定都市1位
- 政令指定都市比較で最大規模の大学数
- エコファミリー制度や銭湯割引

など







こどもっと  
K O B E

神戸は、もっと  
子育てしやすい  
街になろう。

支援やサービスはもちろん、  
人も自然も一緒になって、  
もっと親子を応援しよう。  
子育てにやさしい街に  
なることで、子どもたちの  
元気があふれ、笑顔が  
はじける神戸になろう。

子育てに、笑顔を。  
もっともっと。